

【世田谷区】 胃がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胃部X線検査）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	ペプシノゲン検査

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	211,252	244,827	456,079
【東京都調査による対象者率（区部）：60.5%】			
実際の受診者数	6,305	9,039	15,344

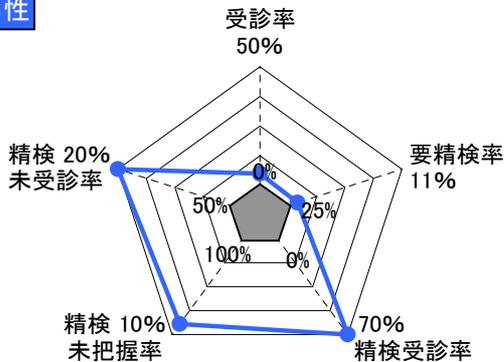
<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

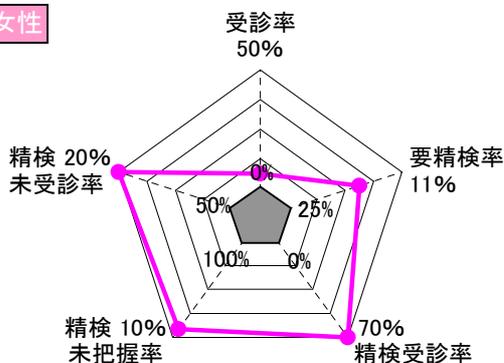
<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	4.9%	6.1%	5.6%
要精検率	11%以下	23.9%	16.3%	19.4%
精検受診率	70%以上	79.7%	82.5%	81.1%
精検未把握率	10%以下	19.9%	17.4%	18.7%
精検未受診率	20%以下	0.3%	0.1%	0.2%
陽性反応適中度	1.0%以上	2.0%	0.3%	1.2%
がん発見率	0.11%以上	0.48%	0.06%	0.23%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんでなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【世田谷区】 肺がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	211,252	244,827	456,079
【東京都調査による対象者率（区部）：66.6%】			
実際の受診者数	11,904	17,759	29,663

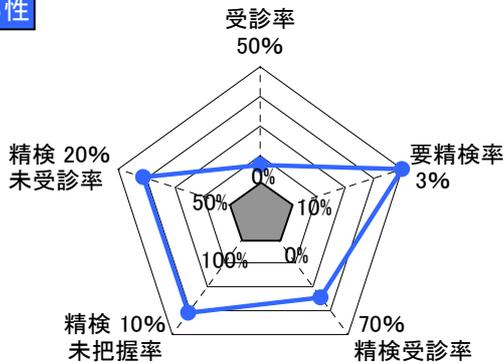
<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

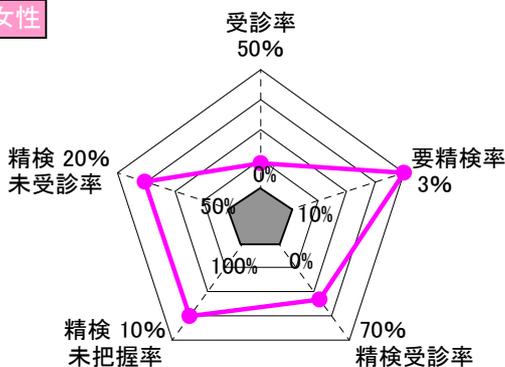
<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	8.5%	10.9%	9.8%
要精検率	3%以下	2.8%	2.3%	2.5%
精検受診率	70%以上	42.8%	40.9%	41.8%
精検未把握率	10%以下	30.5%	32.0%	31.4%
精検未受診率	20%以下	26.6%	27.1%	26.9%
陽性反応適中度	1.3%以上	6.3%	3.0%	4.5%
がん発見率	0.03%以上	0.18%	0.07%	0.11%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にし、問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

<精検未受診率>

精検未受診率が高いため、精検受診勧奨を行うなど精検未受診者を減らす取組が重要です。

【世田谷区】大腸がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査（二日法））	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	211,252	244,827	456,079
【東京都調査による対象者率（区部）：66.3%】			
実際の受診者数	7,506	12,422	19,928

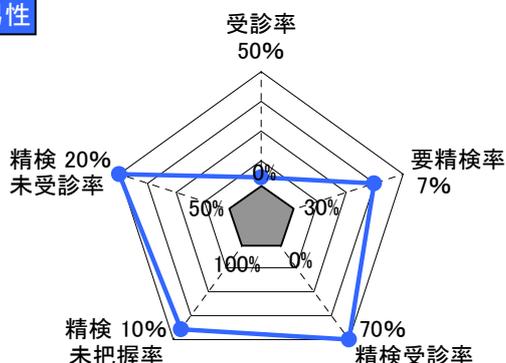
<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

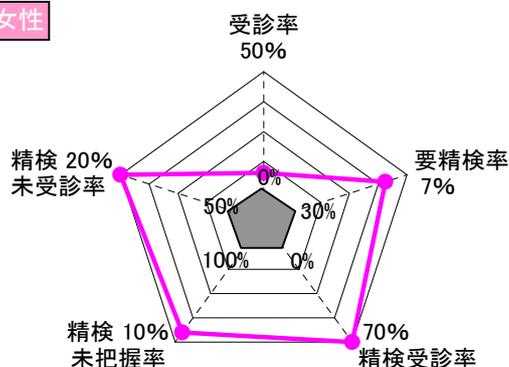
<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	5.4%	7.7%	6.6%
要精検率	7%以下	12.9%	11.4%	11.9%
精検受診率	70%以上	80.3%	81.1%	80.8%
精検未把握率	10%以下	19.7%	18.9%	19.2%
精検未受診率	20%以下	0.0%	0.0%	0.0%
陽性反応適中度	1.9%以上	3.9%	2.0%	2.8%
がん発見率	0.13%以上	0.51%	0.23%	0.33%

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんでなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【世田谷区】子宮頸がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢（20歳以上：隔年）	一部毎年
検査方法（細胞診）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	20～39歳は毎年実施
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		382,766	
【東京都調査による対象者率（区部）：63.7%】			
実際の受診者数		50,875	

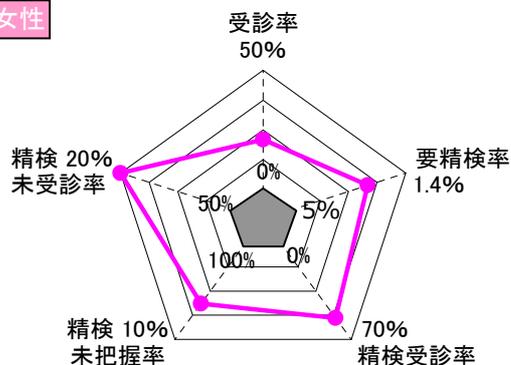
<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	している

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		20.9%	
要精検率	1.4%以下		2.6%	
精検受診率	70%以上		54.4%	
精検未把握率	10%以下		43.4%	
精検未受診率	20%以下		2.2%	
陽性反応適中度	4.0%以上		2.5%	
がん発見率	0.05%以上		0.06%	

女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<2年連続受診者未把握>

2年連続受診者が把握・集計されていません。正確な受診率や受診者の特性を把握するためには、2年連続受診者の集計が必要です。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考に問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

【世田谷区】 乳がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上：隔年）	している
検査方法（視触診及びマンモグラフィ）	している

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

<住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		244,827	
【東京都調査による対象者率（区部）：72.3%】			
実際の受診者数		33,910	

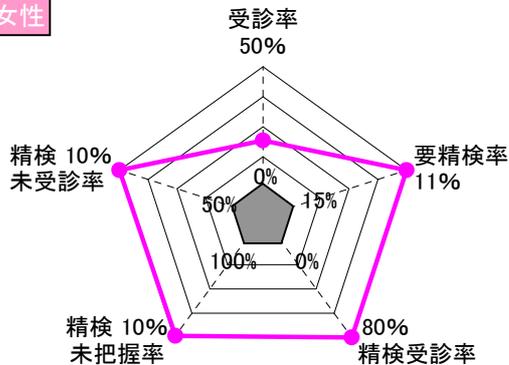
<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		19.2%	
要精検率	11%以下		4.7%	
精検受診率	80%以上		86.1%	
精検未把握率	10%以下		11.7%	
精検未受診率	10%以下		2.2%	
陽性反応適中度	2.5%以上		3.2%	
がん発見率	0.23%以上		0.15%	

女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。